

令和5年11月定例市議会

施政方針要旨

総社市

本日、11月定例会市議会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、万障お繰り合わせの上ご出席くださいまして、誠にありがとうございます。また、日頃から市議会の皆様には、議会運営に格別のご配慮を賜り、重ねてお礼申し上げます。

いよいよ、新たな任期がスタートいたしました。私はいま、この厳かさと緊張感溢れる瞬間にあたり、私自身の情熱、エネルギーを、総社市の未来、そして、すべての市民のしあわせのため、捧げることを私自身の心の中で誓っております。議員各位始め、多くの市民のご意見をお伺いし、対話の中で方向性を見出し、新しい総社市像を創っていきたいと思いますので、今まで以上にご指導の程、宜しくお願いいたします。

特に、今回の選挙では、多くの方にご支援いただき、当選することができました。選挙期間中には、沿道や対向車から手を振っていただき、その期待感の大きさをずっと感じていました。今まで以上のご支援をいただいた付託に応えるべく、常に謙虚な姿勢で、自分自身を磨き、自らの行動力や市政運

営の自己新を更新し続けていくことを目指し、3つの柱を中心に、果敢にトライしてまいります。

1 1月29日に発表された「いい部屋ネット 街の幸福度 & 住みたい街ランキング2023」で、本市は中国地方54市中の第1位に選ばれました。このランキングは、各市区町村の実際の居住者を対象としたアンケートであり、市民から選ばれた結果と言えます。これを励みに、今後も総社流の施策を着実に実行し、もっと「住みたいまち」を目指してまいります。

1 本目の柱は、「人口減少地域の底上げと人口増加へのチャレンジ」です。

今年度に入り、人口は318人増加と、増加基調に戻りつつあります。しかし地域に目を向けると、西部地区、北部地区（池田、昭和）では人口が減少し、東部地区、南部地区では人口が増加と、その格差は広がっています。

まずは、人口減少地区対策です。全力のスピード感をもっ

て、地域の声を聴き、対話を重ねながら、人口減少地域の底上げを図ります。デコボコの生活道路、地域活動の担い手不足など、地域の困りごとやニーズに寄り添い、地域インフラの底上げから、人口減少地域の再興を図るための施策を打ち出してまいります。

地域づくり協議会へ交付している「自由枠交付金」についても、抜本的に見直しを行ってまいります。地域の人口に応じて交付している現在の制度を見直し、人口減少に喘ぐ地域にも光が届くよう、真に困っている人口減少地域に応える形に作り変えていきます。

地域の方々と市が共に、「人口減少」や「担い手不足」などの課題を議論するため、コミュニティー協議会の中に分科会を新たに設置し、長年積もっている地域の課題と徹底的に戦い、ここに住んでよかったと心の底から思えるような住み続けたい地域を創出して参ります。

人口増加へのチャレンジでは、総社市の人口は現在、69,746人と、7万人へはいまだ手が届いていない現状です。現在、人口7万人に再挑戦するための「そうじゃ人口

増パッケージ」を令和6年度当初予算に盛り込むべく、その具体的な内容の検討を進めています。「子育て世帯への支援策の充実」や「空き家の除却に対する固定資産税の改定等による空き家・空き地利活用の促進」などの施策を実行し、「地域ぐるみ」で人口増に取り組みます。

2本目の柱は、「日本一やさしい市役所」の実現です。

助けを求める声、また、声なき声に寄り添って、日本一やさしい市役所を創りあげてまいります。

総社市では、一人暮らしの高齢者が増加しています。さみしきや孤立、孤独感ということは、まさに今、この瞬間にも生まれ、深刻な問題となっています。また、ひきこもりの方々など、孤独を抱え、生き辛さを感じていらっしゃる方々がたくさんいます。こうした市民一人ひとりのさみしきや孤独・孤立に職員が共感し、寄り添う、そして市役所全体で包み込む「日本一やさしい市役所」の実現に、全力で取り組んでまいります。

これまでの取組により、市役所全体に「優しさ」が根付い

てきているところですが、さらなるレベルアップのため、一流のホスピタリティを提供する複数の企業からノウハウを学ぶ接遇研修を行ってまいります。窓口に来られた市民の姿、声色、表情、その一つ一つから、その方の真のニーズや痛みを慮り、市民に寄り添った対応をより一層充実させます。

さらに、人事考課制度の一部改定も行なってまいります。これまでの市民への対応から積み重ねた経験を基に、総社市役所流の目指すべき職員像を職員自らが考え共有し、目立つ施策に携わる職員だけではなく、地道に真摯に優しさを持って市民対応している職員にもスポットがあたる人事上の評価の仕組みの構築にも取り組み、「日本一やさしい市役所」を創ります。

3本目の柱は、「総社市の魅力を全国へ発信」です。

来年4月、昭和五つ星学園義務教育学校・幼稚園が開校します。この昭和五つ星学園義務教育学校・幼稚園では、「山の中の環境留学」「英語特区」「12年間の一貫教育」を中心に教育活動のさらなる充実を図るとともに、全国から児童生

徒を募集します。本市の環境観光大使である野口 健さんを名誉校長としてお迎えし、10月31日には委嘱式と生徒たちとの意見交換会を行い、これからの未来や、子どもたちと一緒にやりたいことを話し合ったところです。来年4月の開校に向け、クラウドファンディングを活用した全国への発信なども含めて、全力で義務教育学校を盛り上げてまいります。

市内には、貴重な史跡・文化財がたくさんあります。作山古墳は、今日に至るまで、いまだ多くの謎に包まれている、とてもミステリアスな史跡であります。今後、調査・保存・活用を検討し、古代吉備王国としての文化的クオリティをさらに押し上げ、全国へ総社市の魅力を発信してまいります。

以上、3本の柱を申し上げさせていただきました。このほかにもじっくりと現状を見極め、総社の輝く未来のため、全力で戦い抜いていきます。

ここで、8月議会での検討事項につき、その結果をご報告いたします。

山田議員および山名議員から、倒壊の恐れがある危険な空

き家については、積極的に特定空き家に認定し、除却を促すべきというご提案がありました。これについては、緊急性のある危険な空き家を5件特定空き家として認定し、対策を進めているところであります。引き続き危険な空き家の認定を行ってまいります。

最後に、お知らせがあります。

「2024そうじゃ吉備路マラソン」を来年2月25日に行います。フル、ハーフ、10km、5km、3kmと、ランニングイベントとして1.5kmと800mの合計7種目、定員22,000人でランナー募集中です。前回同様、ふるさと納税からの申し込みも可能です。市民の皆様と共に、熱い大会になるよう盛り上げてまいります。

人口減少、地域格差、子育て、孤独・孤立など、山積する課題に、新たな気持ちで、スピーディーでアグレッシブ、かつ、ひとつひとつ丁寧に、全力で取り組んでまいりますので、議員の皆様におかれましても、一層のご理解とご協力をお願い

いし、私の施政方針といたします。